

あなたと議会

◆題字書写リレー!!◆ 今号は鹿沼商工高等学校の山井綾夏さんが揮ごうしました

トピック

12地区と4つの高校で
意見交換会を行いました!

市政を問う 12月定例会の結果

2025
234号
2月25日発行



東光音楽部による議場での「議場コンサート」 ～木管五重奏・弦楽アンサンブル～

～もっと「議会」を身近に～

特集

議会報告会・意見交換会

市議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。地元自治会の意向を確認し、今年度は11月に12地区で開催することができました。

今回は、12地区で開催した中でいただいた内容の一部をご紹介します。なお、いただいたご意見のうち、市に対する要望は、市に回答を求め、今回の議会報告会・意見交換会の報告とあわせて、後日議会ホームページに掲載する予定です。

地区別参加者数

開催地区	開催日	参加者数
中央	11月9日	56人
東部	11月11日	46人
北部	11月13日	26人
北押原	11月14日	34人
西大芦	11月12日	18人
加蘇	11月11日	56人
北犬飼	11月13日	38人
東部台	11月12日	21人
南押原	11月22日	8人
栗野	11月5日	31人
永野	11月14日	22人
清洲	11月8日	21人
合計	12地区	377人

中央地区

・駅前の振興の動きには地元としても大変興味がある。新鹿沼駅周辺の活性化に向けた整備など、市に対して自治会としても要望書を提出したい。



東部地区

・地域包括ケアにおいて、第二層協議体への負担がどんどん増えているように思える。議会としても、市の支援が充実するよう取り組んでほしい。

・黒川河川公園について、このところ洪水被害も多く、復旧に多くの時間と費用を要していると思われるた

高校生の本音を聴いてきました！

特集

高校生との意見交換会

この会は平成28年の選挙権年齢引き下げを機に始まり、今年度で8回目となります。

今回は、議会が提示した4個のテーマの中から、高校生が選んだテーマで意見交換をしました。

日常生活で感じていること、鹿沼市議会や鹿沼市に提案したいことなど、高校生の考えを聞き、また、議員の考えを伝えることで、活発な意見交換となりました。

高校生ならではのストレートな意見について、主なものをテーマごとにご紹介します。

公園やスポーツ施設、図書館などの公共施設をもっと使いやすくするには

に関する意見



公園について

- 街灯やトイレなどの設備を充実させてほしい。
- テーブルや椅子などをもつ少し置いてほしい。
- 壊れている遊具などを直してほしい。
- 雑草の管理をしてほしい。

スポーツ施設について

- 利用方法を分かりやすく案内して

め、撤去をお願いしたい。また、断面阻害を取り除けば、洪水被害の軽減につながるのではないか。

・JR鹿沼駅前の樹木について、年々成長し私たちの管理を超える状況となりつつある。落ち葉の掃除や虫の発生で地域では伐採を期待する声も多く、対応してほしい。



北部地区

・自治会協議会として2年前に議員定数削減を提案し否決された。当時様々な説明をして頂いたが、市民の意向として人口5千人当たり1人で換算した定数で良いのではないかと。前立腺がん検診費用は、鹿沼市以外の周辺自治体は有料になっており、周辺自治体に合わせるということであった。受診機会を増やすことが大事であり、なるべく負担がないよう進めていただきたい。

北押原地区

・このところ強盗や詐欺、悪徳商法の被害のケースをよく聞く。例えば

条例などで詐欺電話等を市全体として防ぐことはできないだろうか。縦山駅前交差点について、朝晩の渋滞が激しいため右折レーンを設けて欲しい。

西大井地区

・山林の立木伐採を行っているが、急斜面が多い現状、大型重機が入れるように通路を確保して工事している。無秩序に立木を伐採するのは、災害に強いモデル地区になり得ないのではないかと。数年後には伐採後の根も枯れてしまい、崩落の心配はないのだろうか。

加蘇地区

・下久我の小奈良橋付近が決壊した時に修復工事をしたが、河川の川底土砂が撤去されずに工事が終わり、素人考えながらに不安を感じた。結局水が溢れそうになり住民の不安が倍増した。河川の砂利撤去については、簡単ではないことは承知しているものの、住民の安全



(4ページに続きます。)

ほしい。
● インターネット予約出来るようにしてほしい。
● リアルタイムの利用状況をわかるようにしてほしい。

図書館について

● 今まであったカフェスペースを復活してほしい。
● 図書館前にバス停があった方が便利。
● 電子図書を充実してほしい。
● 勉強スペースだけでなく、お話できるスペースも確保してほしい。
● 19時以降も利用したい。

学校の統廃合や小中一貫校になった場合、学校生活にどんな変化があると思いますか



統廃合について

に関する意見

● 急激な変化に対応できない生徒が増える。
● 通学手段を変更しなくてはならない。
● 学区が広がり通学に時間がかかる。
● 学校がなくなると、ひとつのこ

ミニシティがなくなるのでは。
● 校則はどちらの学校に合わせるのか。こちらの学校では良かったものが、統合されたら違反になってしまうようなことがあるのか。

小中一貫校について

● 学校全体に活気が増える。
● いろんな年代の子とふれあえる。
● 大人数で学校行事が盛り上がる。
● 人数が多いことでコミュニケーション能力が向上する。
● 人が増えることで人間関係のトラブルが発生する。
● 決めたいことが、大人数のため時間がかりそう。
● 児童生徒が増えると、先生の目が届かないのでは。

結婚や子育てについて皆さんは将来どう考えていますか



に関する意見

● 結婚したら自分の時間がなくなる。
● 子育てにお金がかかりすぎる。
● 子育て費用を稼げるか不安。
● 良い出会いがあるのか不安。

(4ページに続きます。)

安心のために堆積砂利の撤去をお願いしたい。

■北犬飼地区

- ・行政側のフレイル予防の推進と健康寿命の延伸の考え方について聞きたい。
- ・花木センターの道の駅計画の進捗を知りたい。早く実現させて街を元気にしてほしい。

■東部台地区

- ・東部台コミセンが老朽化しているが、特に調理室の改善、修理をできるだけ早く進めて欲しい。
- ・防災公園の設置と上都賀農業振興事務所跡地の活用、東部台コミセンの建て替えを陳情したい。

■南押原地区

- ・南押原小学校、楡木小学校が統合することになり、建物としては楡木小学校が空くことになると思う。その後の楡木小学校の使い方について、例えば、美術館にしてはどうかと思う。

■栗野地区

- ・防災無線の撤去に関して反対の要望が出ていると思うが、今後の見通しについて伺いたい。
- ・森林Jクレジットに関して、今後、

時代と共に認証件数や取引事例も増えてくると思われるが、国の取り組みについて市としてのどの様に考え、今後どう対応するのか伺う。

■永野地区

- ・委託を受けて永野川周辺の草刈りをしているが、古くなった桜の木の一部や道路の整備、舗装をしてほしい。
- ・県道沿いに、地元に住んでない方が所有している農地がある。保全の会でも草を刈っているが、草も生えて、つるなどが県道の歩道にまで這い上がってしまっている。伸びてきたつるなど、どうしたらいいかわからないため、例えば、自治会でここまではやつていい、ここからは行政や専門家で、というようなものを示して欲しい。

■清洲地区

- ・楡の木台約90世帯の下排水処理について、住民が減り、1世帯当たりの維持管理費が大きくなり今後困難になる。何か対策はないか。



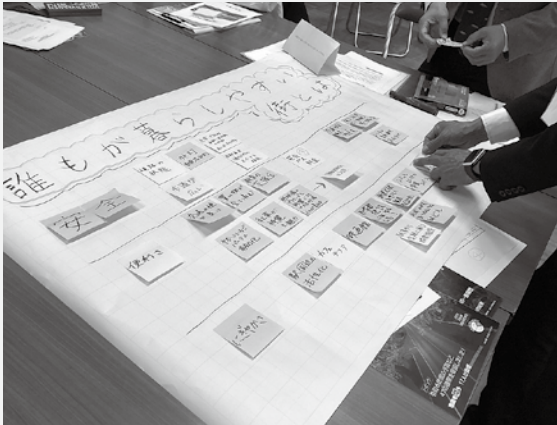
- 男女間収入格差トラブルが不安。
- 働きながら子育ての時間があるのが不安。
- 子育て環境が整っていない。

誰もが暮らしやすいまちとはどんなイメージですか

に関する意見



- ユニバーサルデザインを取り入れる。
- 治安が良い。
- 歩道が整備されている。
- 誰もが挨拶をすることが出来る。
- 交通の便が良い。
- 外国人と交流ができる場所がある。



高校生の感想

- 議員との話し合いを通して考えを深めることができ、とても良い機会となりました。ありがとうございます。
- 今後の鹿沼市の発展につながる貴重な機会をありがとうございました。
- 議員の生の声を聞くことができ、自分の市に対する興味が広がりました。
- 今回の意見交換会はとても楽しく、自分にはない意見を発見できて良かったです。自分にはない新しい意見や考えを知ることができて面白かったです。
- 実際に議員と話して、市政への興味が高まりました。

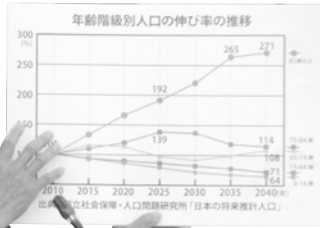
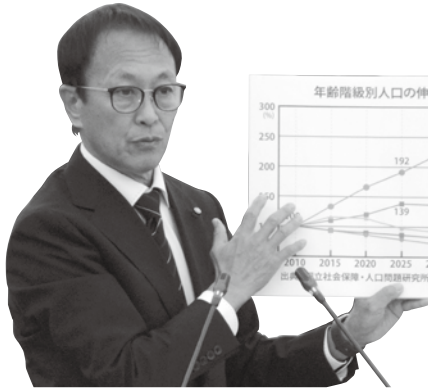


【令和6年度開催実績】

開催日	学校名	参加生徒数
11月15日	鹿沼高等学校	17人
11月18日	鹿沼商工高等学校	14人
11月21日	鹿沼南高等学校	29人
11月22日	鹿沼東高等学校	23人



一般質問の
動画はこちら



鹿沼市の高齢福祉について伺う

質問

家庭の事情等で生活支援が必要な高齢者等、様々な地域の課題がある。その解決を自治会や地域だけに負担を押し付けない公的立場での支援や、第2層協議体に対するサポート体制の拡充が、地域づくりのために今後さらに重要では。

答 弁 (保健福祉部長)

住民が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

本市では、市内17のコミュニティに地域住民や関係団体による第2層協議体を設置し、地域包括支援センター等との連携により、地域課題やニーズの把握及び高齢者を地域全体で支える体制を構築す

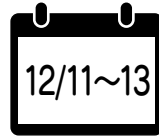
市政を問う



← 議員紹介はこちらからどうぞ。
各質問議員のQRコードからは、それぞれの一般質問の動画をご覧いただけます。

第4回定例会で13人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。

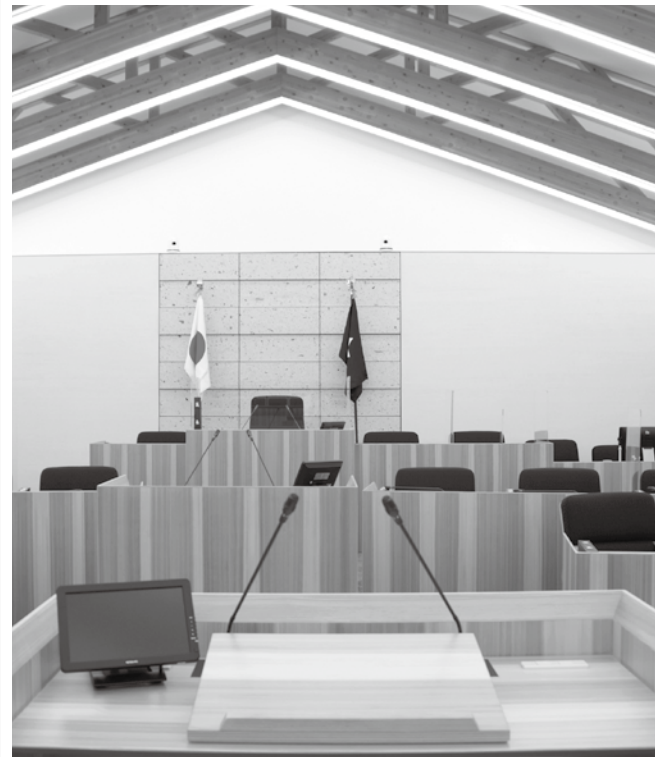
各議員の記事の「質問」の文章は、
議員本人が作成しました。



る「生活支援体制整備事業」の拡充に取り組んでいます。本事業は社会福祉協議会に運営を委託し、協議体への財政的な支援のほか、生活支援コーディネーターを派遣し、地域活動を支える人材や組織をつなげる役割を地域や市と連携して担っています。また、地域の課題に対し、住民が協力し、解決を図るといった好事例が実施され、事業を通じた地域づくりが着実に進んでいます。一方で、担い手の高齢化による人材不足といった課題を地域が抱えている状況もあり、若い世代の参加を促進し、持続可能な支援体制を構築することが不可欠であるため、ボランティア等の担い手育成といった新たなアプローチを行いながら、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

◆その他の質問事項

- 議案第91号 鹿沼市御殿山会館条例の廃止について
- 議案第95号 鹿沼市都市公園条例の一部改正について
- 令和7年度の鹿沼市の事業について



鉄道に関する政策課題について伺う



一般質問の動画はこちら



質問

東武鉄道の羽田空港への直通電車の乗り入れを目指す「東京都心・羽田空港直通電車推進期成同盟会」の活動状況、乗り入れによる本市への影響や効果、また、今後の課題について伺います。

答 弁(市長)

期成同盟会の連携を深めながら、粘り強く要望していきます。

現在、東京駅と羽田空港の直結、宇都宮線・高崎線・常磐線などから羽田空港への所要時間短縮や乗換解消・削減などを目的に、JR東日本が「仮称、羽田空港アクセス線」の計画を進めています。東京都心・羽田空港直通電車推進期成同盟会は、東武日光線からの羽田空港への

直通運転の実現を目指すもので、栃木市長が発起人となり、沿線の本市と栃木市及び日光市、さらに3つの市内の商工会議所や商工会などが参加しています。今年、10月7日に設立総会を開催し、まずは、今年度中に、東武鉄道とJR東日本への要望活動を実施する予定です。東武日光線の直通が実現することで、市民の皆さんが羽田空港へ短時間で移動できること、そして、羽田空港からのアクセスが向上することから、国内外を問わず、観光客等の増加なども期待できるものと考えています。今後の課題としては、何よりもJR東日本と東武鉄道のご理解とご協力が必要となります。羽田空港アクセス線の開業予定である令和13年に向けて、この期成同盟会の連携を深めながら、粘り強く要望していきます。

◆その他の質問事項

- 眺望の良さを活かした公園の活用について
- 「ふらっと勉強」しなければいけないの？」
- LUSH



松井市長が実行に向けて考えているハード事業について伺う



一般質問の動画はこちら



質問

松井市長が市長に就任し約半年がたちますが、市長が考えている実行に向けてのハード事業はどのようなものを考えているのかお尋ねいたします。

答 弁(市長)

小中学校体育館へのエアコンの設置は、令和7年度から順次導入を進めていきます。

公約に掲げた各事業については、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、実現に向けて検討を進めているところであります。早急に着手したいと考えているものは、小中学校体育館へのエアコンの設置であり、令和7年度から順次導入を進め

ていきます。次に、新産業団地整備について、鹿沼インター産業団地の向かい側に整備する計画で、今年度中にも、地元地権者の皆様などへの説明会を開始し、令和11年度に造成工事等に着手できるように努めていきます。次に、下水道事業リプレイス用地について、子どもたちが安全に走り回れるような広場をイメージして、公園的な整備を検討していきます。また、公約に掲げたハード事業として、「県との連携による南押原スマートインターチェンジ整備及びファナック通りへのアクセス強化」や「農業公社の施設拡充」などがあります。これらについては、実現に向けての課題を整理しながら、今後、整備方針やスケジュール等を明らかにしていきます。

◆その他の質問事項

- さつき祭り及び協賛イベントについて
- クリーンセンター北側の下水道事業用地について
- 消防について





一般質問の
動画はこちら



保育行政について伺う

質問

令和8年度から導入される「子ども誰でも通園制度」を前に、市内の保育環境を確認したい。その上で最適な預け入れができる体制作りの準備は進んでいるか、制度概要や募集などをどのように周知していくか伺う。

答 弁 (子ども未来部長)

令和7年度に試行事業を開始し、体制を整えることで本格実施に向けて準備を進めていきます。

令和6年10月1日現在、待機児童はいませんが、希望園に入れないため入所できない保留児童は58人となっています。こども誰でも通園制度は、保護者の就労

の有無に関わらず保育園等に通っていない生後6か月から2歳までの児童が、保育園等を利用することができ、令和8年度から本格実施されます。同年代の集団の中で過ごすことで、社会性を育み、子どもの健やかな成長を促すこと、孤立感や負担感を抱える保護者の不安を軽減することを目的に、市が公募した保育園等で実施するものです。利用する際は、事前に登録を行い、オンラインで申し込むことを想定しており、利用料金は国の示す1時間当たり300円、利用できる時間は、同じく国の示す1か月当たり10時間を上限に検討しています。令和7年度に試行事業を開始し、課題の洗い出しなどを行い、体制を整えることで本格実施に向けて準備を進めていきます。

◆その他の質問事項

- 在宅療養の充実について
- 市民への情報提供について



一般質問の
動画はこちら



野生鳥獣対策について伺う

質問

本市における野生鳥獣による被害の現状と課題について伺います。また、猟友会の人材確保について会員数と平均年齢の推移、県内の狩猟免許取得に対する支援状況、今後本市においても支援する考えがあるかをお伺いします。

答 弁 (経済部長)

市独自の支援策を研究していきたく考えています。

野生鳥獣による令和5年度の農業被害額は769万円、林業被害額は3千792万円です。課題としては、住民の高齢化などにより、設置したワイヤーメッシュの管理等、環境保全が難しくなっていることや、

有害鳥獣捕獲者の高齢化や減少などが挙げられます。猟友会の会員数は鹿沼、栗野両支部の合計で227人が在籍し、平均年齢は69歳です。約10年前と比較すると会員は約2割程度減少し、若干高齢化が進んでいます。県では第一種銃猟免許を取得し、狩猟者登録を受けた者に2万円を支援しており、県内他市では、12市が1万円未満から20万円位まで、免許の種類ごとに異なる支援をしています。本市の支援は、鹿沼市農業公社から、狩猟免許取得後、猟友会に入会した有害鳥獣捕獲業務の従事者に対して、免許の種類ごとに1万円を支援しています。今後、他市の支援内容を調査し、猟友会等の意見もお聞きしながら、市独自の支援策を研究していきたく考えています。

◆その他の質問事項

- 地方公務員の働き方について
- 物価高騰対策について



小中学校の不登校について伺う

質 問

不登校の現状と、不登校による影響、行っている取り組み等について伺う。

答 弁(教育長)

児童生徒が社会的に自立するということを目指し、支援に努めていきます。

令和5年度の不登校児童生徒数は、小学生86名、中学生168名、その出現率は、小学生1・98%、中学生7・04%です。教育相談室の相談の中では、不登校児童生徒やその保護者による学習の遅れへの心配や、学校に登校できない自分自身を否定的に捉えて悩んでしまい、将来に対する不安を抱えることなどがあります。そのため、不登校の期間が休養や自分

見つけ直す等の積極的な意味を持つことがあることも踏まえ、児童生徒やその保護者が、自分自身を否定的に捉えてしまいうことがないように支援しています。学校教育の中では、担任等による家庭訪問等とおして、学習プリントを渡し学習状況を確認したり、オンライン授業等を実施するなどの対応をしています。児童生徒が学校に安心して登校できるように、いじめや暴力行為などを許さない学級づくり、学校全体で取り組むことが重要であり、毎月の欠席状況調査や、学校生活についてのアンケートを実施し、未然防止や早期発見に努めています。今後も関係機関と連携して、児童生徒が社会的に自立することを目指し、支援に努めていきます。

◆その他の質問事項
○若者支援のための政策について



一般質問の動画はこちら



薬物の過剰摂取「オーバードーズ」の防止対策について伺う

質 問

風邪薬や咳止めなどの市販薬の過剰摂取が若者を中心に増加していますが、本市のオーバードーズの現状について伺う。また、オーバードーズが原因と思われる救急搬送の実態について伺う。

答 弁(保健福祉部長)

背景には、社会的孤立や「生きづらさ」が要因となっていることが国の調査で明らかになっています。

オーバードーズは、10代から20代の若者を中心に、全国的に急増していることや、その背景には、社会的孤立や「生き

づらさ」が要因となっていることが国の調査で明らかになっています。本市消防本部のデータによれば、自殺を目的としたケースを含めた救急搬送の件数は、令和4年が16人、令和5年が13人、令和6年10月現在で11人の合計40人です。男女の内訳は、男性が12人、女性が28人であり、約7割を女性が占めています。世代別については、20代および30代がともに約20%を占めており、続いて10代が15%を占めています。結果として、全体の60%が10代から30代に集中しています。また、繰り返し搬送された人は、令和4年に1人、令和5年に1人おり、2人と同じ年に2回搬送されています。

◆その他の質問事項
○GIGAスクール端末の更新について
○キャッシュレス決済の推進について
○「マイナ保険証」の普及と利用促進等について



一般質問の動画はこちら





一般質問の
動画はこちら



一般質問の
動画はこちら

予約バスの南押原地区及び北押原地区から 西方病院への運行について伺う



質 問

予約バスの運行日及び運行便数の拡大の考えについて、お伺いします。また、利用者拡大に向けた取り組み等についてお伺いします。

答 弁 (市民部長)

利用件数増加の傾向が見られれば、増便等について検討していきます。市では、地域の皆様からの要望を受け、今年の10月1日から当該区間の予約バスの実証運行を開始しました。運行日は、年始を除く月曜日と火曜日で、運行ダイヤは、行きの便が朝の9時発、帰りの便

思川開発事業・南摩ダムに関連する市の対応について伺う



質 問

思川開発事業は昭和44年実施計画が策定され、半世紀以上に渡り、地域からの多大なるご理解等を得ながら進められている事業です。協力地権者や地元関係者への特段の配慮が必要と考えますが、市の見解を伺います。

答 弁 (市長)

施設管理規程に関する、地元からのご意見等についても、本市から水資源機構や関係機関への働き掛けを行っていきます。

事業主体である水資源機構が策定する「ダムの操作の方法や管理に関する必要な事項」である「施設管理規程」の策定にあたり、水資源機構は、関係都道府県

が午後1時15分発の各1本、基本運賃は、600円です。期間については、今年度末をひとつの節目とは考えていますが、利用状況や、傾向などが掴めるまでは延長も視野に入りたいと考えています。今後の利用件数増加の傾向が見られれば、増便等について検討していきます。今回の実証運行については、これまでも、広報かぬまや、市のホームページ、コミセンダよりで周知したほか、南押原地区自治会協議会の御協力により、地区内の全戸にチラシを配付していただきました。さらに、予約バスの車内には利用促進のチラシを貼り、病院内にもポスターを掲示しています。今後も、こうした様々な手段により利用者の拡大に取り組んでいきます。

知事及び費用負担に同意した本市を含む利水者と協議するとともに、国土交通大臣の許可を受けなければならないとされています。市としては、地域住民の安全・安心に十分に配慮したルールになるよう、地元住民のご意見も踏まえながら、今後、水資源機構及び関係機関との協議を続けていきます。水資源機構からは、「独立行政法人水資源機構法で、施設管理規程の策定過程において、地元関係者が直接協議主体となることは規定されていない」とも伺っていますが、地元からのご意見等についても、本市から水資源機構や関係機関への働き掛けを行っていきます。水没移転者の生活の思い出の品々については、現在、市で一時保管しております。今後、ダム周辺の施設での展示に向け、水資源機構と調整を行っていきます。



◆その他の質問事項

- 鹿沼市制度融資について
- 地域のチカラ協働事業及び市民協働モデル事業について
- 黒川工コ肥料について
- 国の経済対策について



◆その他の質問事項

- 議案第87号 指定管理者の指定について
- 議案第91号 鹿沼市御殿山会館条例の廃止について
- 鹿沼市財政健全化推進計画の推進について
- 通学路の安全確保について
- 飼い主のいない猫等への対応について

次期総合計画の策定について伺う

質問

地域のチカラ協働事業は、財源や使い道が完全に地域にゆだねられていない。市が振り分けるのではなく、各地域にまかせざるべきと思うが市長の見解を伺う。

答 弁 (市長)

本制度が令和8年度で終了することを見据え、新たな支援の在り方を検討していきます。

本事業は、「地域づくり活動事業補助金」と、「地域のチカラ協働事業補助金」の2層構造となっており、前者は、防犯灯設置にかかる電気料など、具体的な用途を定めて運用しています。一方、後者は、地域自らが自分たちで取り組むテーマを決めることができる、各団体の裁量



一般質問の動画はこちら



情報モラル教育について伺う

質問

本市義務教育段階で実施している情報モラル教育の具体的な内容についてお示し下さい。また、情報モラル教育を担当する教職員の専門性や研修体制はどのように整備されているかお示し下さい。

答 弁 (教育長)

教職員の専門性の向上に努めていきます。

各学校では、児童生徒の実態に合わせて情報モラル教育の計画をたて、指導を実施しています。授業や学校生活においては、タブレット端末の活用と合わせ、端末の使い方や使用のルール、IDやパスワードの取り扱い、インターネットの利用やマナーの在り方などについて繰り返し指導しています。また、外部講師を招いて情報モラル教室を実施した学校もあり、今年度実施した学校は25校でした。その他にも、ICT端末の適切な使い方に関する指導や、ネットトラブル、ネット犯罪等についての指導などを行っています。教職員の研修体制について、今年度、市主催のタブレット端末の活用に関する研修を6回計画しています。現在までに4回の研修が終了し、53名の教員が参加しています。また、国や県が主催する情報モラルに関する研修会についても教職員に参加を促しています。今後の研修会においても、タブレット端末の活用と合わせて、児童生徒への情報モラル教育に関する内容を扱い、教職員の専門性の向上に努めていきます。

返し指導しています。また、外部講師を招いて情報モラル教室を実施した学校もあり、今年度実施した学校は25校でした。その他にも、ICT端末の適切な使い方に関する指導や、ネットトラブル、ネット犯罪等についての指導などを行っています。教職員の研修体制について、今年度、市主催のタブレット端末の活用に関する研修を6回計画しています。現在までに4回の研修が終了し、53名の教員が参加しています。また、国や県が主催する情報モラルに関する研修会についても教職員に参加を促しています。今後の研修会においても、タブレット端末の活用と合わせて、児童生徒への情報モラル教育に関する内容を扱い、教職員の専門性の向上に努めていきます。

◆その他の質問事項
○鹿沼市の防災について
○教育行政について



◆その他の質問事項
○妊産婦支援について





一般質問の動画はこちら

佐藤 誠 議員



便利な図書館について伺う

質問

鹿沼市の図書館は全て月曜休館のため仕事や月曜休みの市民は子供と図書館に行けないので3館の交互休館を提案し、併せて居場所としての魅力向上のため本館入り口の座席増や改装、受験シーズン

の夜8時までの開館等も提案する。
答 弁 (教育次長) 東分館の休館日変更を検討しています。

現在、毎週月曜日を休館日としている3館のうち、東分館の休館日変更を検討しており、令和7年度中の早い時期に実施したいと考えています。図書館本館の近隣には市民情報センターや文化活動交流館の学習スペースがあり、夜9時まで

開設しています。両施設ともスペースにまだ余裕があるため、開館時間の見直し等については、利用状況を踏まえ、引き続き検討していきたいと考えています。図書館本館は、空調設備等の改修工事の実施や館内レイアウトの変更など「魅力ある図書館づくり」を目指しリニューアルを行いました。今年度からは、入口のくつろぎスペースの他、全体の座席数を約20席増設しました。その他、「赤ちゃんタイム」を拡大したほか、2階にはキッズスペースを設置し、好評をいただいています。今後も、図書館本来の役割や機能をさらに充実させるとともに、多くの市民に親しまれる魅力ある図書館を目指していきます。



◆その他の質問事項

○快適な秋祭りについて
○健康な老後について



一般質問の動画はこちら

船生 雅秀 議員



鹿沼市の水道普及率について伺う

質問

鹿沼市の水道普及率が他市町と比較して低いのはなぜか。また、普及率を上げるためにいかなる対策を考えておられるか伺う。

答 弁 (上下水道部長)

水道整備だけではなく、いくつかの施策を組み合わせることで、安全・安心な生活用水の確保を図っていきます。

本市は、市町が整備する上水道、民間が管理する簡易水道、専用水道の合計の普及率が94・1%で、25市町の内19位であり、平均値96・3%より少し下回っています。本市は地域の約7割を森林地帯が占め、集落が沢谷いに広がっているこ

とから、他市町に比べ面での整備が容易ではなく、県内の普及率の状況、都市構造の特徴を加味すると、本市の水道普及率が特段低いとは言えないと思っております。水道未普及地域に新たに浄水施設と管路の整備を進めるには、水道料金に影響が生じないように一定数以上の加入者が必要ですが、水道事業は、経営に必要な費用を水道料金等で賄う独立採算制であることから、収支のバランスを考慮しながらの事業経営になります。人口集中地区の整備がほぼ終了していることもあり、大幅に普及率を上げることは難しいと考えています。なお、未普及地域については、水道整備だけではなく、いくつかの施策を組み合わせることで、安全・安心な生活用水の確保を図っていきます。



◆その他の質問事項

○平和に関する教育と道徳教育について

令和6年第4回定例会 議員の賛否を公表

「全会一致(出席議員全員が賛成)」以外の議案等における、各議員の賛否は以下のとおりです。
議員数23名、議長は表決には加わりません。賛成：○、反対：●、棄権：棄、不参加：不、除斥：除、欠席：欠

番号	件名	採決結果	1 鹿妻 武洋	2 仲田 知史	3 橋本 勝浩	4 早川 勝弘	5 駒場 久和	6 船生 雅秀	7 橋本 修	8 藤田 義昭	9 梶原 隆	10 宇賀 神敏	11 大貫 桂一	12 石川 さか	13 鈴木 毅	14 阿部 秀実	15 佐藤 誠	16 館野 裕昭	18 谷中 恵子	19 津久 井健吉	20 小島 実	21 増淵 靖弘	22 横尾 武男	23 関口 正一	24 大島 久幸
陳情 10号	スケートパークの設置を求める陳情	採択	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	
陳情 12号	城山城址公園に隣接する西側の防空監視哨一帯を鹿沼市の公園にすることを求める陳情(を継続審査とすること)	継続審査	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠	○	
陳情 13号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認を求める陳情書	採択	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	欠	欠	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●

※その他の議案22件、議員案3件、陳情1件は全会一致で可決されました。

※欠席者については、鹿沼市議会会議規則の規定により、議長宛に欠席届が提出されています。

議案等一覧

市長提出議案22件、議員案3件が提出されました。また、陳情4件を審査しました。

令和6年度補正予算

議案79 専決処分事項の承認について(令和6年度鹿沼市一般会計補正予算(第5号))

歳入については、県支出金の増額を計上し、歳出については、衆議院議員選挙費及び予備費の増減額を計上したもので、この補正額を5,511万4,000円の増とし、予算総額を431億9,978万9,000円とするものです。

議案80 令和6年度鹿沼市一般会計補正予算(第6号)について

歳入については、地方交付税、国県支出金等の増減額を計上し、歳出については、障害者自立支援事業費、介護保険施設整備事業費、こども医療対策事業費、林業施設災害復旧事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を8億8,698万3,000円の増とし、予算総額を440億8,677万2,000円とするものです。

議案81 令和6年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、繰入金を増額を計上し、歳出については、診療報酬内容点検専門員報酬及び滞納整理補助員報酬の増額を計上したもので、この補正額を110万7,000円の増とし、予算総額を100億3,549万円とするものです。

議案82 令和6年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、国県支出金、支払基金交付金、繰入金等の増額を計上し、歳出については、居宅介護予防サービス給付費、地域密着型介護予防サービス給付費等の増額を計上したもので、この補正額を2,133万2,000円の増とし、予算総額を88億3,525万8,000円とするものです。

令和6年度補正予算

議案83 令和6年度鹿沼市下水道事業会計補正予算(第1号)について

収益的支出において、支出総額を405万6,000円増額補正するとともに、資本的支出において、継続費を設定した鹿沼市黒川終末処理場の建設工事委託に係る総額を8億4,630万円減額し、年割額を改めるものです。

その他

議案84 辺地に係る総合整備計画の変更について

令和5年12月21日議案第116号として議決を得た西大芦辺地及び上・中粕尾辺地に係る総合整備計画並びに令和6年3月18日議案第15号として議決を得た入・中栗野辺地に係る総合整備計画について、辺地における計画事業の変更を行うためのものです。

議案85 指定管理者の指定について

やまびこ荘の指定管理者として、社会福祉法人希望の家を指定するためのものです。

議案86 指定管理者の指定について

観光いちご園を除く花木センター及び林産物需要拡大施設の指定管理者として、公益財団法人鹿沼市花木センター公社を指定するためのものです。

議案87 指定管理者の指定について

花木センターのうち観光いちご園の指定管理者として、有限会社農業生産法人かぬまを指定するためのものです。

議案88 指定管理者の指定について

市営住宅、市営従業員用住宅及び市営若年勤労者用住宅の指定管理者として、有限責任事業組合かぬま住まいサポートセンターを指定するためのものです。

市道

議案89 市道路線の認定について

千渡地内及び茂呂地内における開発行為により、新たに築造された道路を市道として認定するためのものです。

(13ページに続きます。)

市道

議案90 市道路線の変更について

茂呂地内における土地の一体的な利用を目的とした用地の売却に伴い、関係する市道の起点を変更するためのものです。

議案91 鹿沼市御殿山会館条例の廃止について

令和7年3月末をもって、御殿山会館を廃止するためのものです。

議案92 鹿沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童支援員となるための研修を修了していない者のうち、業務に従事した日から2年以内に当該研修の修了を予定している者を放課後児童支援員とみなすためのものです。

議案93 鹿沼市道路占用料条例の一部改正について

道路法施行令の一部改正に伴い、国道の道路占用料に準じて占用料の額を見直すためのものです。

条例

議案94 鹿沼市市営住宅条例及び鹿沼市市営若年勤労者用住宅条例の一部改正について

入居者の所得基準の引上げ及び入居対象者の拡大を行うとともに、入居者が行う市営住宅の共用部分の維持管理等を市が代わって行うことにより、入居者の利便性の向上を図るためのものです。

議案95 鹿沼市都市公園条例の一部改正について

鹿沼運動公園及び栗野総合運動公園の陸上競技場の使用料の額を見直すためのものです。

議案96 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

刑法等の一部改正により、懲役及び禁錮の刑が廃止され、令和7年6月1日から新たに拘禁刑が創設されることに伴い、関係する条例の用語を整理するためのものです。

人事

議案97 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員（候補者） ※敬称略
宮坂 拓（みやさか ひらく・草久）

議案98 鹿沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当の額を引き上げるためのものです。

条例

議案99 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるためのものです。

条例

議案100 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の勤勉手当及び期末手当の額並びに給料表を引き上げるためのものです。

議員案

議員案9 鹿沼市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

「刑法等の一部を改正する法律」において、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、新たに「拘禁刑」が創設されたため、例規中の文言の改正を行うためのものです。

議員案10 下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書の提出について

地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するためのものです。

議員案11 宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の料金徴収期間「延伸無し」を求める意見書の提出について

地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するためのものです。

陳情

陳情10 スケートパークの設置を求める陳情

子供から大人まで自由にのびのびと練習できるスケートパークを設置すること等を求めるものです。

陳情11 栃木県に対し宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の料金徴収期間「10年延伸」案の反対を求める意見書の提出に關します陳情

意見書を提出することを求めるものです。

陳情12 城山城址公園に隣接する西側の防空監視哨一帯を鹿沼市の公園にすることを求める陳情

城山公園は、古城として多くの先人たちが栄枯盛衰をとどめた史跡であり、遺跡公園として観光にも適していると思われることから、現在の公園を拡張し、防空監視哨一帯を鹿沼市の公園とすることを求めるものです。

陳情13 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認を求める陳情書

議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為は、「庁舎内での営業禁止の原則」「政治的中立性への配慮」「各自治体の調査結果により、ハラスメントを生じさせる可能性が高いこと」等から、庁舎内においては原則禁止を確認することなどを求めるものです。

議案等に対する討論

陳情第10号、陳情第13号において討論が行われました。各討論の概要は以下のとおりです。

●陳情第10号 スケートパークの設置を求める陳情

賛成討論 鹿妻武洋 議員

課題としては、新設や維持管理の費用がかかることや、スケートボード用のコースはそれ以外の用途に使用することが困難なため、市の施設として公平性があるか、といったことがある。一方で、スポーツを楽しみたいという気持ちは尊重すべきものではある。

新設以外にも既存の場所を使いやすくするなどの方法もあるので、課題をクリアできるのであれば、練習場所が整備されること自体を否定するものではない。対話によってやりたいこととできることの調整をすることが重要ではないか。

(14ページに続きます。)

●陳情第13号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認を求める陳情書

賛成討論 佐藤 誠 議員

社会通念上許容される物品やサービスであれ、特定の政党の機関紙の購読勧誘であれ、庁舎内での販売は原則として職員
の意向を踏まえて許可制にすべき。

部外者が庁内執務スペースにみだりに立ち入ることは情報保護等の観点から好ましくなく、政党新聞の購入希望職員は勤
務時間外に行い、勤務時間中は職務に専念すべきである。

反対討論 仲田知史 議員

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認は、庁舎内管理規則の運用を徹底し解決出来ると考えます。しかしながらこの
陳情において、陳情の背景に『ハラスメント』が多用に盛り込まれており、この陳情を採択することにより議員の販売行為
がハラスメントであると鹿沼市議会が認める事となります。では、鹿沼市議会においてハラスメントとは何なのか今まで議
論を深めてきたのでしょうか。議論を深めずしてこの陳情に賛成する訳にはいきません。今後ハラスメントとは何なのか議
論し認識が深まる事を御期待申し上げ、今回の陳情は反対致します。

常任委員会行政視察報告

鹿沼市議会では、3つの常任委員会が、所管する事務に関する先進事例の調査などを行うため、行政視察を実施しています。各常任
委員会で報告書を作成し、12月23日の本会議最終日に各委員長から議長へ報告を行いました。ここでは、各常任委員会の視察報告のう
ち、概要をお知らせいたします。なお、報告書の詳細は議会ホームページで確認できます。



総務常任委員会

○10月29日 鹿児島県霧島市 A I活用型オンデマンド交通（さりしまMワゴン）の運行について

霧島市の公共交通の課題は、中心市街地における慢性的な交通渋滞、住宅密集地における
狭隘道路、増大し続ける市の財政負担等本市における公共交通を取り巻く背景に似たものが
ありました。さりしまMワゴンとは、予約に応じてA Iが最適な経路を導き出し指定の停留
所まで送迎する仕組みで、事業を実施するに当たり、国の交付金の活用、地元自動車販売会
社との連携協定、スポンサーの導入を進め、実証実験を繰り返し、令和6年10月から本格
運行が開始されました。本市においても、戦略的な運行エリアの選定、民間事業者等との協
議による持続可能な地域公共交通の構築、地域公共交通の質や魅力の向上による新規利用者
層の取り込み、タクシーとの差別化事業評価によるサービス改善等の課題を実証運行をしな
がら解決していく事が必要であると感じました。

《その他の視察事項》

- 熊本県八代市 廃校を活用したサテライトオフィスについて
- 熊本県熊本市 「防災センター」の現地視察



教育福祉常任委員会

○10月16日～17日 青森県八戸市

- ・子どもモニター制度について
- ・子どもまちなかIT部について
- ・子どもファスト・トラックの取り組みについて
- ・未来の保育士応援奨学金制度について
- ・「八戸市美術館」・「八戸ブックセンター」の現地視察

○10月17日～18日 北海道函館市

- ・「はこだてみらい館&はこだてキッズプラザ」の現地視察
- ・「函館市中央図書館」の現地視察

今回視察調査した両市とも、市長の公約や方針に基づき各施策が立案され、各担当部局に
おいても職員も趣旨や目的を十分に理解したうえで事業遂行から成果分析までされている印
象がありました。

八戸市においては限られた財源の中で事業の選択と集中を行い、子どもを「未来の人財」
として育て、本や芸術文化などの知的財産を活かし、将来を見据えたまちづくりに取り組ん
でいます。あわせて、これらの各事業を総括する部署（こども健康部こども未来課企画グ
ループ、観光文化スポーツ部文化創造推進課）を設置し、他部署や外部との連携、集客、市
民の地元愛の醸成など、特性や魅力を活かしながら幅広い波及効果を高めています。

函館市は駅前の広い空間や居心地のいい図書館、路面電車の運行など、市民が自分のまち
を心豊かに楽しめるコンテンツが豊富で、それらをさらに活かしており、魅力度ランキング
全国一位のまちの底力を感じました。



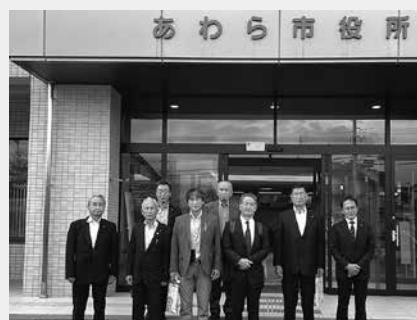
産業建設常任委員会

○10月28日 福井県あわら市 道の駅事業とあわら市の町の活性化について

あわら市の持つ資源を最大限に活用しながら、観光産業の振興などによる地域の賑わい創出
や地場産業の活性化を図り、「訪れたい市、住み続けたい市」としての魅力向上に取り
組むため整備されたこの道の駅は、従来の「休憩」が利用目的となる道の駅としての機能の他
に、道の駅自体や地域資源を楽しむなど、「目的地」となる道の駅を目指し、あわら市北部エ
リアの新たな地域振興や観光拠点の位置付けになっています。「道の駅」、「北陸新幹線芦原温
泉駅」、「あわら温泉街」の3地点をネットワーク化し、点から線、線から面として、市内全域の
周遊性を高め、あわら市全域の活性化を図るまちづくりの成功例になったと感じました。

《その他の視察事項》

- 石川県白山市 都市再生整備計画（西松任駅周辺地区の活性化）について
- 福井県越前市 「道の駅 越前たけふ」の現地視察
- 福井県敦賀市 「ちえなみき」の現地視察



意見書を提出しました

国土交通大臣・内閣府特命担当大臣（地方創生）あてに意見書を提出しました。

●議員案第10号 下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書の提出について

下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書

公共インフラの適切な維持管理や更新は、地域住民の日常生活の安全と安心のために大変に重要な課題である。地方公共団体が整備や維持管理を進めてきた下水道は、1990年代に建設されたものが多く、下水道管の耐用年数をおよそ35年と仮定すると2025年頃から大量に更新時期を迎えることが予想される。

この地方公共団体の下水道事業においては、この施設の老朽化に加えて、人口減少による使用料収入の大幅な減少、職員数の減少による管理や運営状況の悪化に対し、広域化やDXをはじめとする効果的・効率的な取組が求められている。

政府は、更新時期を迎える公共インフラの適切な維持管理や更新のために、PPP/PFI推進アクションプラン（令和5年改定版）を策定し公共施設等運営事業へ移行する方針を示した。下水道においては、公共施設等運営事業への段階的な移行を目指して、官民連携方式として、長期契約で管理と更新を一体的にマネジメントする方式（ウォーターPPP）を導入することとした。

更に政府は、社会資本整備総合交付金等の交付要件について、「汚水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている汚水管の耐震化を除き、ウォーターPPP導入を決定済みであることを令和9年度以降に要件化する」とした。

この下水道事業では、PPP/PFIの導入が、政令指定都市をはじめ、人口20万人以上の大規模地方公共団体で進んでいるが、中小規模の地方公共団体では進んでいないのが現実である。その原因の一つに、PPP/PFI手法は、仕組みが複雑で検討も多岐にわたるため、中小規模の地方公共団体にはノウハウが少なく、施設等の規模も小さく事業規模が大きくなりやすいこと等がある。

よって、政府に対して、地方公共団体が民間との連携のもとで、安定的かつ持続的に下水道施設を機能させることができるよう、公共施設等運営事業への段階的な移行を目指してのウォーターPPPの導入について、下記の事項について特段の配慮を求める。

記

- 一、地方公共団体への導入支援において、職員向けのガイドラインだけではなく、中小規模の地方公共団体に寄り添う形で、相談窓口の開設や、専門家の派遣等の伴走型の支援体制を整えること。
- 一、社会資本整備総合交付金の交付について、「汚水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている汚水管の耐震化を除き、ウォーターPPP導入を決定済みであることを令和9年度以降に要件化する」との政府の方針について、地方公共団体の取り組み状況に応じて弾力的な対応を検討すること。

栃木県知事・栃木県議会議長あてに意見書を提出しました。

●議員案第11号 宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の料金徴収期間「延伸無し」を求める意見書の提出について

宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の料金徴収期間「延伸無し」を求める意見書

2026年3月をもって無料化を予定している宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の今後の管理・運営のあり方についての協議として、県道路施策検討有識者懇談会が2024年3月に行われ、料金徴収期間を延伸する「10年延伸」と、無料化する「延伸無し」の2案が作成された。

有識者懇談会の意見として

- ・無料化され交通量が増えた場合でも、周辺道路への影響はなく、産業誘致の観点からも無料化の方が良いと思う。
- ・有料の場合は、さつきロードを避けて抜け道を利用した車が割り込みするなど、事故の危険性も高く、地域の安全面から考えても無料化が良いと思う。
- ・無料化した場合の県負担額が6.1億円、10年延伸した場合の県負担額が3.4億円であり、延伸した方が2.7億円節約できるが、県の財政規模で考えたときにそれほど大きな差額ではないのではないかと感じた。

以上のような発言があり、また、座長からは「各委員からは「無料化」した方が良いという意見が多かったように思う。」また、「時間短縮効果が大きいことを踏まえると、無料化した方が良いのかなと思う。」との発言もあり、期間延伸できる条件（路線の機能強化、利用者の利便性向上等）を満たさないのであれば、当初の計画どおり無料化するべきだと考える。

現在、鹿沼市では、鹿沼工業団地に隣接する鹿沼インター産業団地の整備も進められており、さつきロードはこれからの産業誘致の環境づくりの要として、産業活動を支える幹線と捉えている。

また、一般利用や通勤通学で利用している普通自動車や軽自動車、自転車においても、宇都宮一鹿沼間への移動時間の短縮といった利便性の向上も期待される。

有料の場合では、迂回のために発生する時間損失や、交通事故の危険性といった地域の安全面についても不安な状況である。そこで栃木県に対して、宇都宮鹿沼道路（さつきロード）の料金徴収期間については、無料化する「延伸無し」を強く求める。

請願・陳情とは

請願・陳情とは、市政全般について議会に善処を要望することです。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と言います。請願・陳情は、議会において採択の可否を審査します。ただし、陳情は、その内容等によっては請願に準ずる審査等を受けない場合があります。

令和7年第1回定例会の審査分より、請願・陳情を持参された際に、免許証・マイナンバーカード等により、本人確認をさせていただきます。請願・陳情書の提出方法や本人確認書類等、詳しくは、議会事務局（TEL63-2203）までお問い合わせいただくか、議会ホームページをご覧ください。



議会からの **お知らせ****つくば市立みどりの学園義務教育学校を視察しました**

10月23日(水)、つくば市立みどりの学園義務教育学校を訪問し、部活動の地域移行に至るまでの経緯や現状等について学ぶことができました。当日は正副議長をはじめとする15名の議員が参加しました。

同学校の部活動は、指定管理者が設立している地域クラブに入会することで、17種目全てのスポーツ・文化クラブの部活動に参加できます。入会するためには、会費を支払う必要がありますが、会員制、有料化に対して保護者からの反対はあまりないように見受けられました。これは、より専門性の高い指導を受けられるためであると推測されます。

地域移行する際には、競技志向からコミュニティづくりや交流、スポーツ文化活動に親しむことなど、部活動のあり方を見直す必要があると感じました。

**下水道分野におけるウォーターPPP導入について勉強会を開催しました**

政府は、社会資本整備総合交付金等の交付要件について、「污水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている污水管の耐震化を除き、ウォーターPPP導入を決定済みであることを令和9年度以降に要件化する」としています。

これを受け、現在の市の状況を確認するとともに、ウォーターPPPの導入について理解を深めるため、11月20日(水)、鹿沼市役所にて「下水道分野におけるウォーターPPP導入」についての勉強会を開催しました。

勉強会后、市議会では12月23日(月)の本会議にて、「下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP導入に向けての丁寧な対応を求める意見書の提出について」を全会一致で可決し、国に対して意見書を提出しました。

**定例会の日程****令和7年第1回定例会(予定)**

月	日	曜	内容
2	12	水	議会運営委員会
	19	水	本会議(第1日) 提出議案の説明
3	5	水	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	6	木	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
	7	金	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託
	11	火	総務常任委員会
	12	水	教育福祉常任委員会
	13	木	産業建設常任委員会
	17	月	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決

令和7年第2回定例会(予定)

月	日	曜	内容
5	21	水	議会運営委員会
	28	水	本会議(第1日) 提出議案の説明
6	11	水	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	12	木	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
	13	金	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託
	17	火	総務常任委員会
	18	水	教育福祉常任委員会
	19	木	産業建設常任委員会
	23	月	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページでご覧いただくか、または議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

題字の揮ごう

今号は、鹿沼商工高等学校2年生の山井綾夏さんに揮ごうして頂きました。

私の書いた字が掲載されてとても、嬉しいです。
「議会」のバランスをとるのがとても難しかったですが、何回も何回も練習して、一画一画丁寧に書きました。

**表紙写真の募集**

「あなたと議会」の表紙に掲載する写真を募集しています。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。

